



本野っ子の心を見つめる教育週間

6月22日～26日までは、「本野っ子の心を見つめる教育週間」です。過去に長崎県では、子どもが関わる痛ましい事件が起きました。この出来事を風化させてはならないという思いから、それまでも行われていたのですが、より深く子どもたちに「命」について考える機会を設けたのが始まりです。

本校でも、地域・保護者の皆様の協力のもと、様々な取組を計画しています。下に記しますのでご確認のほどよろしくお願ひします。

また、先日6年生は、「源流祭」や「諫早大水害」と「本野小学校の歴史」を総合的な学習の時間で調べていく中で、実際に水害を経験された、藤山さん、小川さん、青木さん、川副さんなどの地域の方から、当時の生活や学校の様子を聞く中で、「命の尊さ」を学びました。他の学年でも、本の読み聞かせや、道徳科教材、理科や生活科の学習などを通して、「命」について考えたり、触れたりする機会があります。ご家庭でも、この期間を活用し「命」について話題にさせていただきますようお願いいたします。

【教育週間中の学習活動】

22日…委員会活動・校長講話 23日…動物愛護講話 25日…平和学習

26日…ふれあいデー

(道徳授業参観・学級分会・ふれあい遊び・メディア教室)

※下の写真は昨年の様子です。



水泳学習

安全第一で実施します。小学校の体育科では、水泳運動（1・2年生は水遊び）に限らず次の3点が指導の重点です。

①運動の行い方を知り、生活の中での健康や安全について理解し、基本的動きや技能を身に付ける

②自己の課題を見つけ、解決に向けて思考、判断しながら、他者に伝える力を養う

③運動に親しみながら健康と体力の向上を目指し、楽しく明るく生活する素地を養う

限られた時間ではありますが、複数学年で協力し合いながら、複数の職員で指導にあたります。安全確保が第一ですので、天候、気温、水温によっては泳げません。学習道具、健康観察カードなどの忘れがないようご注意ください。また、目、耳、鼻、皮膚を中心に既往症がある場合は、通院していただき医師の判断をあおいください。



～校長室の窓から～

縄跳びや竹馬に継続して取り組んできた低学年。その成果を校長室からみることができます。「雨垂れ石を穿(うが)つ」聞いたことはないでしょうか。続けることで大きな変化が起こること、積み重ねることが大切であることの例えです。大人でも、効果が見えにくいと諦めてしまいがちです。子どもたちはなおさらですね。しかし、目には見えない効果であっても、積み重ね、続けていくことの大切さについては、今後も機を見て、子どもたちに伝えていきます。